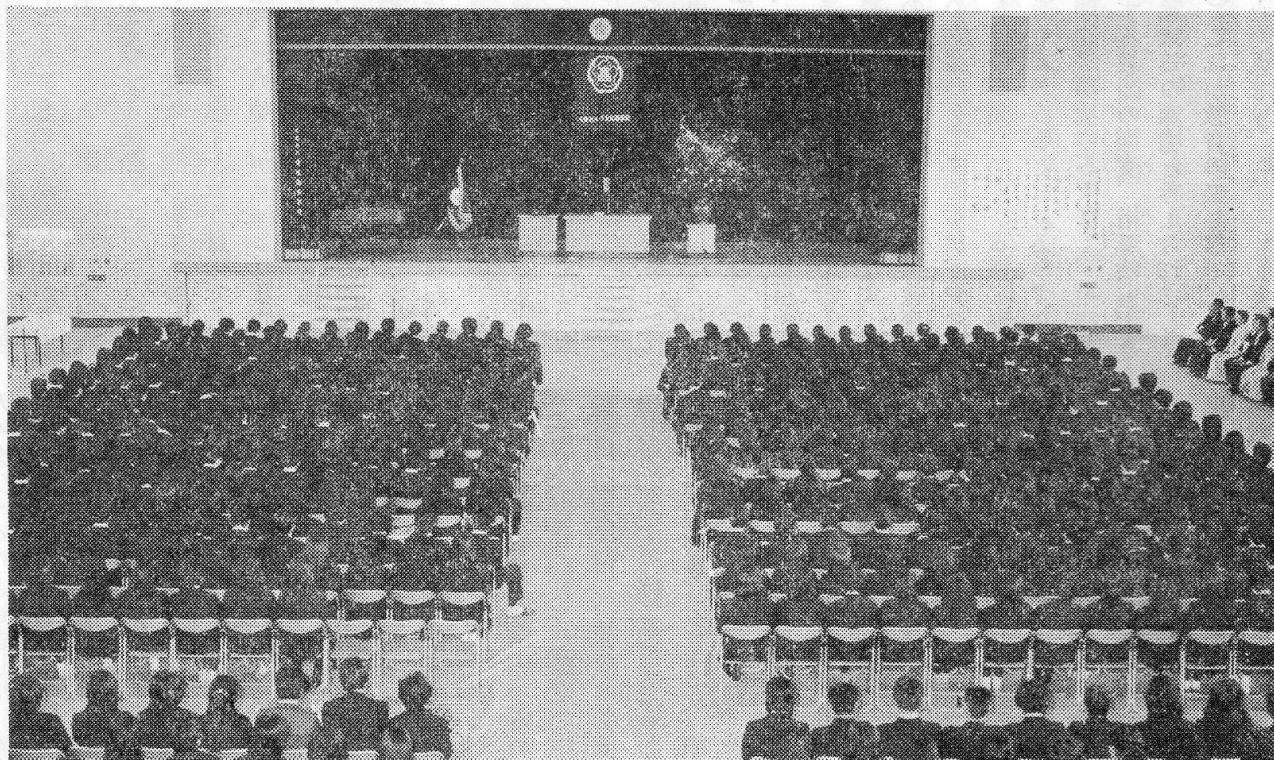


占 春 会 報

第 1 3 号

発行 八尾市大字千塚102 大阪府立清友高等学校
占春会事務局 TEL (0729) 41局3456



昭和57年卒業式(38回生)
男子卒業生を始めて送り出す

始めて男子卒業生を迎えて!

占春会長 河合 聿子

会報五号から府立移管問題がと
りあげられ、会報十号では全卒業
生が会願しておりました通り、清
友の名前が残されて、大阪府立清
友高等学校になりました事を、ご
報告致しました。地名のつかない
府立高校は清友だけです。と過
日現校長先生に言われて、叫び続
けて来た事の無駄でなかった事を
今更乍ら痛感致します。

さて、千塚の地で男女共学校と
して歩み始めて爾来三年、創立以
来、満四十年目のこの節の歳に男
子卒業生を占春会に迎えられた事
は、誠に意義深い事で、今年程、
『ああ、我が母校、清友は永遠な
り。』の感をいただきましたことは
いうまでもありません。

卒業式に参列して、壇上のパツ
クには、昔乍らの『寒梅と清流』
の校旗が掲げられ、佐古校長先生
から、各クラスの代表者が一名づ
つ(一名だけが女子で他は全部男
子生徒)が階段を一段づつ踏みし
めて卒業証書を受けとつていまし
た。校歌も変らず男子生徒も唱っ
てくれました。最後は、螢の光を
全員で合唱して終わりました。私は
その時数名の男子生徒の涙をみま
した。何の涙かは知らないけれど
きっと心の優しい生徒なのでしょ
う。何年か後にはこの人達も交じ
って同窓会を運営してくれる事と
しよう。会員の皆様、拍手で男子
卒業生を迎えて下さい。女子の方
叱らないで、勿論あなた達も大歓
迎ですよ。

さあ、共に母校清友の益々の発
展の為に協力して下さい。

57年度 総会ご案内

日時 六月十三日(日) 午後一時
場所 母校小講堂

一部 総会

二部 年次毎の同窓会

- 会長挨拶
- 校長挨拶
- 57年新入会員挨拶
- 新任期代表紹介
- 56年度 会計報告
- 事業報告



教育 雑 感

学校長 佐古 廣衛

占春会の皆様 お元氣ですか、男子生徒を含む卒業式を厳肅な雰囲気のうちを終え、四月八日には入学式も無事すませ、新年度のスタートを切りました。緊張した面々の40名の新入生を見て彼等の秘めたる可能性を花さかせてやらねば、との責任感に身が引き締る思いがいたしました。

さて最近の新聞紙上を賑わせている学校の荒廃状態に、教育に携さわるひとりとして実に辛い焦りと、絶望感に近い気持ちに、陥る事も、またこれではダメだと自身を励ましている毎日です。人間の身心の発達の上で素質か、環境かと云う事が何時も問題になりません。私が中学の漢文の時間に、性善説、性悪説の話を学んだ事を覚えています。これは人間本来の素質に重点をおいた考えです。性善的な立場、つまり人間は本来善なるすばらしい素質を有しているが、何等かの原因、たとえば環境の影響で充分に発揮されていない

か、或は非常に屈折した形で表れていると我々教師は、考えているわけです。又そう考えないと教師としての発想の原点が足元から崩れ去ってしまう事になります。教育を意味する英語のエデュケーションも、元々人間の有する優れたものを引き出すと云う意味であり、その美点が発揮されるのを妨げている何等かの要因を取り除き、更にその美点を最高に伸ばしてやると云う、その可能性を信じなければ教師は務まりません。私のささやかな教員生活の中でも手に負えないと思われる生徒も、こちらが腹を割って話し合えば、本当にキラッと宝石の様な心の美しさを持つているのに、胸を打たれた事もしばしばありました。といってもそう簡単に行くものではなく、深い挫折感に襲われる事も度々あり、茲に教師としての苦しみと喜びがあるのだと思います。先程の素質か環境かの問題は教育学上の永遠のテーマですが、少なくとも彼等の美点が伸びる様な環境を造ってやること、(必ずしも物理的な環境のみでなく、生徒に対する教師の態度、指導法も大きな意味での環境と考えられましよう)これが教育の楽しさではないかと考えます。

ある新聞のコラム欄に興味ある記事が出ていました。関西のある動物園に泳げないペンギンが居て人々をびっくりさせました。本来水泳の名人である筈のこのペンギンは、生後一年二ヶ月も経ち立派な体を持ちながらプールに入れると大さわぎ、危く溺れそうになる始末、それ以来ペンギンは水をこわがってプールに近づこうとしませんでした。このペンギンの両親は仲が悪くて子供の世話に熱意を示さなかつたため、生後間もなく両親から引き離して飼育係が育てたのです。水泳の名人であるペンギンも初めから立派に泳げるわけではなく、自分の育った環境の中で親の行動を学習し、体験の蓄積を通して初めて泳げる様になるわけです。後日談になりますが、飼育係がバケツで水をかけたり、浅瀬で馴らしたり、ある時は自分も泳いで見せたりして数ヶ月後に、やっと泳げる様になったそうです。

この話は我々教師にとって大変シンボリックな話です。つまり我々も、ある優れた能力を持っているにも拘らず、何等かの原因で充分に発揮されずに埋れている場合も多いのではないのでしょうか、その能力の開発を妨げている要因を見し、それを除いてやる事、これが我々教師の務めであり、親の責任でもありましよう。さしづめペンギンに泳ぎを教えた飼育係は一流の名教師と去うべきでしょう。技術論に走って恐縮ですが、生徒の指導で大切な事はその生徒の持っている良い点を見付けてほめてやる事です。とかく親や、教師は成績だけを問題にし勝ちであり—それは決して無視出来ないものですが—人間には学校の成績だけで評価出来ないすばらしい面がある事を忘れてはなりません。

ゲートは『真のパーソナリティこそ各時代のすべての人の所有物の中で最も尊い富である』といっておられます。その人の人柄、個性が如何に大切なものを指摘しているものと思います。私の付き合っている範囲でも非常に頭の鋭い秀才であるが、高慢で人を見下した様な人物がいますが、余りいいパーソナリティとは思えない。頭はそれ程切れなくても謙虚で寛容な人を私は尊敬しますし、全人的に見た場合に遙かに優れているのではないかと考えます。

アメリカのピッツバークにある木材会社が、その会社の電話交換手に、最高の給与を払っているという話を聞きました。人柄のよいその人の応待にかかると、大抵の会社に対するクレームは、収まると思います。その人の美点を高く評価した社長も立派な人と云うべきでしょう。吉田松蔭もその様な人であったといえます。松蔭が投獄された時、同囚の中で俳句のうまい囚人に俳句の勉強会、字のうまい囚人に「君は字がうまいから字の先生になれ」といった具合に、人の長所を見付けて生々と活動させたといえます。真の名教師と云うべきでしょう。想像するに松下村塾での教育は儒教的な固苦しいものでなく塾生の個性や自発性を尊重した意外とモダンなものではなかつたかと思えます。

生徒や子供の長所を見付け、それを美しく花咲かせる事、又個々が個性を充分に伸ばし、又お互に尊敬し合える様な社会を作る事、これが教師や親の生き甲斐であり夢でありましよう。最近の暗いニュースに反撥し、自分を激励する意味でも少し長くなりましたが、書かせて頂きました。

会員の皆様方の益々のご活躍をお祈り申し上げます。





教頭 前川 如矢

校舍北玄関前の、占春の園の木蓮の花が春3月一杯に咲き誇った後、例年より早く、美しく開いた桜の季節から緑の鮮やかな5月となりました。同窓会の皆様にはお元気で、ますますご活躍、ご発展のことと存じます。

学校は昨年度末、2月25日には通算38回目、府立移管後最初の共学の卒業生512名を出し、名実共に府立清友高校となりました。やんちゃな、直情型の情もろい卒業生達で、それぞれの進路へと向って行きました。今後の成長と活躍を願っています。昭和57年度は丙午生れの子の高校進学のに当り、本校も府下の他校と同様に新入生にはやや広い門でした。

学校の年間行事としては、1年生は5月に神鍋山での2泊3日の宿泊訓練、3年生は進学、就職説明会、模試と、ここ3年程定着し、2年生は4泊5日で、3学期

にスキー修学旅行、又は2学期10月に中国地方、北九州方面への修学旅行、その他1、2年は4月にそれぞれ1日を使って久宝寺緑地でのソフトボール大会、冬、高山への半日の耐寒訓練があり、さらに全学年芸術鑑賞、秋10月の文化祭、体育祭と、教育活動に工夫を加えて、豊かな充実した教育を目指しています。昨年从今年へ1年、今年から来年へ1年と、着実に歴史を積み、清友の文化を創って行きたいと思っています。

一、教職員の異動

退職 昭57・3・31付

安倍貞人先生(社) 研究に従事

転任 昭57・4・1付

橋爪 寛先生(数) 府立勝山高校

相馬久敬先生(理) 府立香里丘高校

大村健三先生(数) 府立加納高校

安田智子先生(保体) 府立布施高校

小林孝二先生(保体) 府立八尾東高校

竹見紳一先生(理) 府立天王寺高校

有岡信一先生(国) 府立香里丘高校

鹿島 公先生(英) 府立茨田高校

宮脇(山本改め) 治代先生(英) 府立泉尾高校

吉成潤子先生(助手) 府立加納高校

着任 昭57・4・1付

土井秀一先生(国) 府立成城工業高校より

大橋睦夫先生(社) 桃山学院大卒

藤田省吾先生(社) 関西学院大卒

大上泰男先生(数) 府立八尾高校

姉崎 誠先生(保体) 府立八尾東高校より

大久保英子先生(保体) 府立西成高校より

片岡 昇先生(英) 府立牧野高校より

中原光子先生(英) 大阪市立大卒

妻鹿悦子先生(英) 大阪教育大卒

期限付講師 南野(早野改め) 容子先生(英)

船橋 涉先生(英)

産休講師 木村恵子先生(国)

非常勤講師 谷田文男先生(社) 菊尾栄先生

(国) 古本博子先生(数) 鎌倉信子先生(理) 桜井範男先生(保体)

田村典子先生(英) 湯村幸子先生(家) 大岡ひろ子先生(家)

が退職されました。

期限付講師 山本定行先生(国) は大阪福島商業高校へ転勤

新しく非常勤講師

浅野勝先生(国) 上笹敦子先生(国) 小川尚美先生(英) 東野和美先生(英) 木村和枝先生(家) 小谷野敦子先生(家) が着任されました。

二、昭和56年度

卒業生の進路

卒業者数 512名

進学者及び予定者数 284名

就職者数 217名

家業、家事従事者数 11名

進学 大学

近畿大 大阪電気通信大 摂南大 追手門学院大 阪南大 奈良大 神戸学院大 京都産業大 大阪産業大 大阪商業大 大阪学院大 岡山理科大 大阪芸術大 花園大等

短大 大阪成蹊女子短大 常磐会短大 大阪女子短大 金蘭短大 帝塚山短大 華頂短大 大阪工大短大部

就職 住友銀行 三和銀行 大和銀行 松下電産 日本生命 美津濃 阪急百貨店 ロイヤルホテル 日本国有鉄道等

三、在校生

本年度 昭和57年度は1年 10学級、2、3年は各12学級で全学年

で34学級、生徒数は千600名です。昨年と同様に、基礎学力の充実、学力の増進と進路指導に重点目標を置いていきます。

四、祝、朗報

堂本雅人生生(書) 昨年度に続き本年度も日本芸術院展覧会にご入選。

河合伸昭先生(数、27歳) 剣道五段にご昇段

ご結婚

中野泰三先生(保体) 昭56・11

山本泰子様(助手) 改姓松本様 昭57・1・24 山本定行先生(国) 昭57・1・10 福井康夫先生(数) 昭57・2・28 宮脇裕先生(保体) と山本治代先生(英) 山本先生改姓宮脇先生 昭57・3・5 有岡信一先生(国) 大57・3・25

五、御礼

体育祭等で使用する大阪府立清友高等学校の優勝旗を制作して戴くに際して、占春会からもご援助下さいまして、ありがとうございます。

厚く御礼申し上げます。

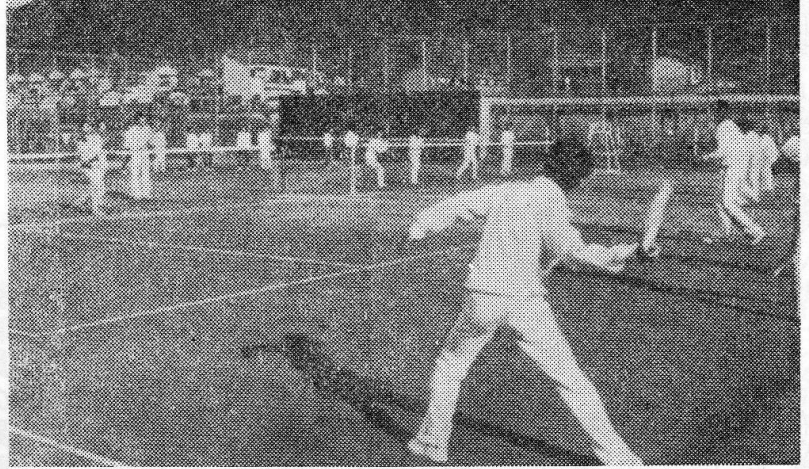


在 校 生 の 活 躍 風 景

部 活 動 紹 介

テニス部

現在男子13名女子24名（1・2年生）の部員で毎日懸命の練習に励んでいます。昭和55年度、男子近畿大会ベスト32（個人戦）・女子大阪府ベスト16（団体戦）、来年度戦績アップを目指し心身鍛練を更にやらねばと思っております。御声援いただければ幸甚です。



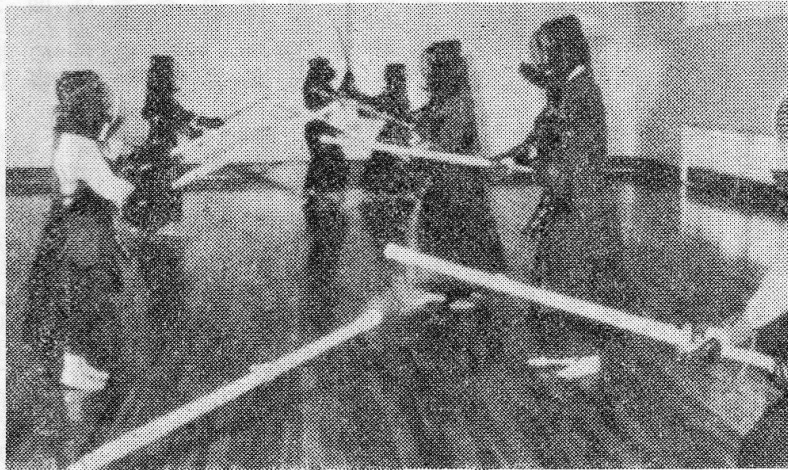
剣道部

剣道部は、清友高校府立移管の年、昭和54年に、同好会として誕生し、昨年6月部に昇格しました。

現在、部員は、男子11名女子8名です。

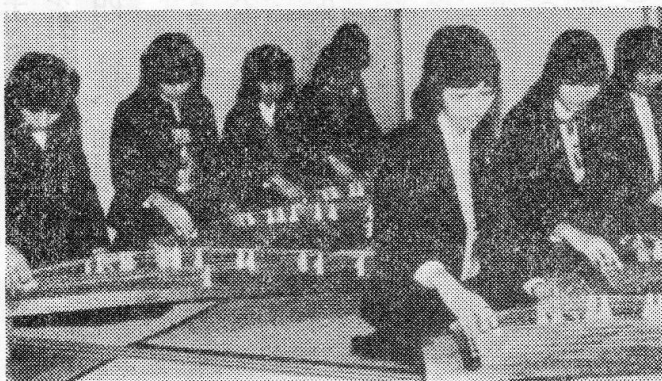
正式な部としての治動は56年度が最初でしたが、まだこれといった実績を挙げておりません。

57年こそは、立派な成績を修めようと、1月の寒稽古など、部員一同、練習に励んでいます。



科学研究同好会

昨年の文化祭では、プラネタリウム、自作のロボット、等を展示し好評でした。現在は望遠鏡の自作等をやっていますが、他にも幅広く手がけていきたいと考えていますので、科学に興味のある人は、男女を問わず、ぜひ入部していただきたいと思ひます。

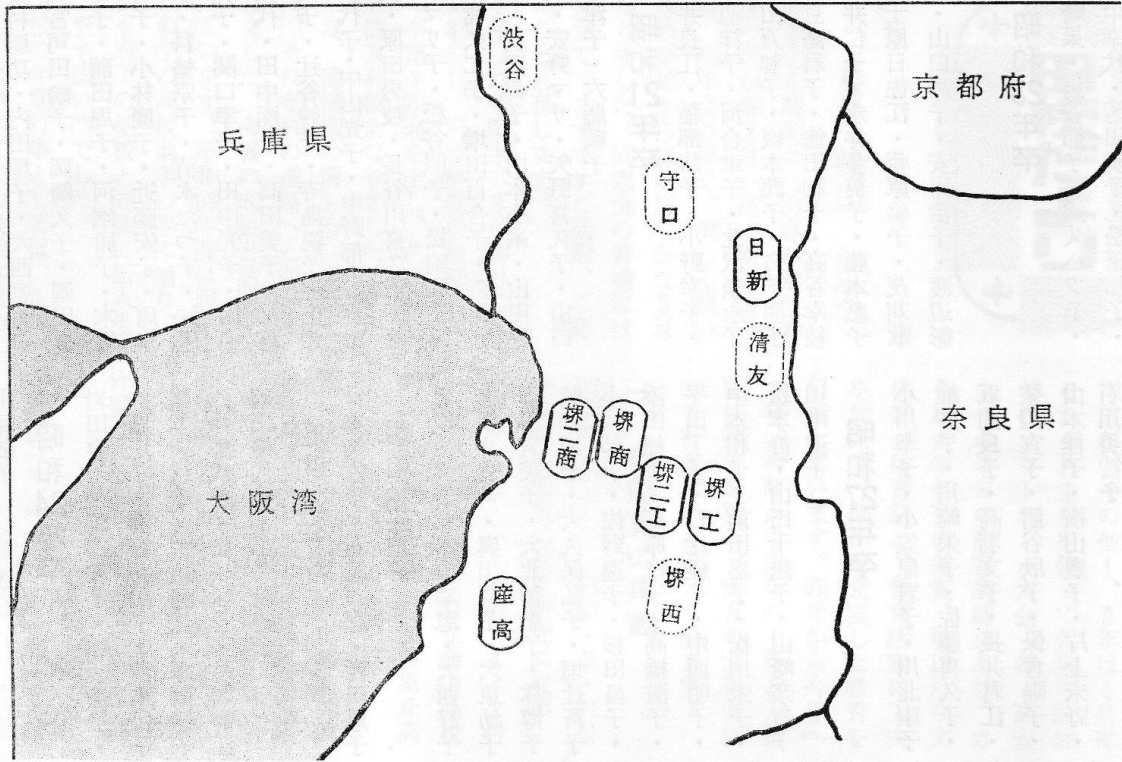


箏曲部

11月1日、厚生年金会館で催された「訪ポーランド日本伝統文化交流使節帰朝記念祝賀箏曲演奏会」に15名の部員が「白鳥の湖」を奏しました。淡谷のり子・谷井祐子大先生と共に制服の高校生が立派に日頃の練習の成果を発揮することが出来ました。

(練習風景)

昭和38年以後の衛生都市立の府立移管校
(新設校は、はいつていません)



大阪府立清友高等学校 (沿革と概要)

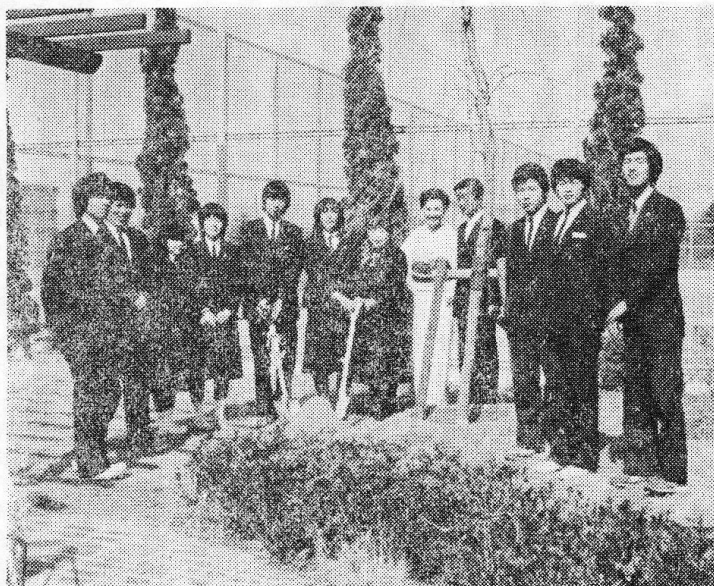
〒581 八尾市大字千塚 102

(TEL 0229-41-3456)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 校長 佐古 広衛 | 3. 学級構成 36学級 (普通) |
| 1. 生徒数 1,656名 (内女子886名) | 4. 校地面積 33,784.92㎡ |
| 2. 職員数 専任85名 非常勤13名 | 5. 校舎面積 14,582.63㎡ |
| 6. 沿革の概要 | |

昭和16. 4 清友学園高等女学校として仮校舎により開校、昭和17. 9 八尾市柏村に新校舎竣工し移転
 昭和20. 1 校舎第二期工事竣工、昭和23. 4 新学制により清友学園高等学校と改称、昭和26. 2 講堂
 兼体育館竣工 昭和31. 9 八尾市に移管して八尾市立清友高等学校となった。その後校舎の改築・増築が4
 期にわたって行われてきたが、昭和54. 4 大阪府に移管され現在地に移転し、大阪府立清友高等学校となる。

「占春園」に今年も
 又一本増えました。
 38回生は
 しだれ櫻を！



昭和57年2月
 卒業式後男女生徒による植樹風景

占春会費追徴金納入者氏名 (敬称略)

昭和20年卒

阿部美子・犬飼帛子・安座菅子・栗村尉功・内田輝子・大西恵美子

御宮司田鶴子・岡崎久子・岡田きよ子・蒲田周子・河端庸子・木場

容子・小林慶子・近藤安子・周幸子・科禁宗子・清水たつ子・妹尾

充子・関口幸子・田中光子・田中典代・田中熙子・高田美子・大道

茂子・辻谷妙子・寺島悦子・土井喜代子・中山光子・中野郁子・羽田

敦・原田房枝・長谷川喜久子・藤田マリ子・松谷照子・松岡和子・

松浦久仁子・増田百合子・森田好子・森田偉子・山本小糸・山田幸

子・安野マサ・矢野喜久子・山口智津子・六島頼子

新井良江・稲部恭子・小野幸子・大池洋子・河合聿子・北沢圭永子

小山万智子・坂本鶴子・白子明子・小豆島君子・龍田和子・高谷幸枝

中井仁子・永井多美子・藤本恵子・富士原日佐江・藤原倫子・茂莉歌

子・山口尚子・安田治子・渡辺彰子

昭和21年卒

石川花子・小野久美子・宮崎操子・大池登茂子・柳生和子・山上敏子

中易敬子

岩田容子・岡部和子・加藤隆子・加藤恵子・春日井陽子・清水保子

橋本佳代子・古川通代・本田佳子・西井輝代子・松城順子・弓場静江

岡田佳代子・小久保勝子

青木美佐子・石原捷恵・西田厚子

綾井加代子・内山幸恵・大西好子・上田サカエ・奥川貞子・大東幼子

岡田貴美子・大北智恵子・林博子・岡本康子・大久保弘子・垣辻育子

小代郁子・佐野逸子・杉田昌子・添田桂子・高原孝子・高橋滋子

平田了子・日比経子・中西明子・中本和子・前田嘉子・松川栄子

松本静・山田千鶴子・山崎奈賀子・田中淑子

昭和24年卒

小川幸子・小笠原君子・川北康子・梶妙子・川崎栄子・佐藤喜久子

坂間良子・高羽文子・長井君江・桢辺宜子・鮎谷欣子・保倉陽子

山本桂子・横山豊子・片上未野・石川美智子

昭和25年卒

池原静子・清水澄子・田中静子・辻本恵美子・土谷京子・中井明子

辻野恵美子・猶原愛子・野田貞子・巻島明子・山本由美子・横尾悦子

中易督子

前田千恵・有川育子・川中淳子・肥田正子・西尾治子・藤井博子

中道喜久子・長妻高子・中西玲子・中出糸枝・木村芳子・長谷川浅子

井川悦代・小林久・松永富代子・井浪幸子・鍛冶良子・峯林明子

高山アツ子

昭和26年卒

森田静代・松岡好美・池住邦子・坪内キミ子

小林和子・宮本節代・高野幸子・角田峰子・蔦井庸子・藤川史子

卯津羅千鳥子・湯川保子・河村美子・大久保多来子・七井草枝子

戸根安子・相生武子・島岡輝子・中村順恵子・中島締子・平松和代

八木田満寿子・松浦節子・芦田紘子・平岡敏子・飛田和代

井上圭子・永岡征子

昭和27年卒

樋口晴子・山田豊子・中川由子

昭和29年卒

吉田英子・野下幸子・岸本洋子・大西和代・大江節子・木寺富子

上中登茂子・荒本千代子・林文代・竹尾久栄・浅田千賀子

田中純代・杉本勝子・植田久枝・野口和枝・業天俊恵・廣田千夏子

宮下喜代子・田中典子・土井孝子・仲家ヨリ子・吉川春美・稲富照代

橋本ケイ子・和田晴子・柿本保恵・河野加代子・桜井寿美子・松田孝子

子・谷口和子・橋本順子・上岡明美・寺口広子・大西勝子・太田都

・田村美代子・福森章子・白石満子・上田えみ子・柚本和子・田中久

美子・水田千鶴・志馬純江・佐々木加代子・峯洋子・浅井洋子・岩

崎美智子・小寺康子・和田聡子・清水協子・松尾協子

昭和32年卒

福谷雅美・辻野伶子・奥野博子・岩本慶子・川北敏子・植木功子

上谷ヨシ枝・岡田裕子・岡崎典子・岡井恵美子・田代紀子・浜口勝子

鹿野寛子・山田納里江・森脇英子・乾美代子・山崎詔子・西野治子

関妙子・白鳥静代・上原加代子・奥山裕子・柴田信子・塩本久美子

櫻谷治代・武藤弥寿子・酒井照子・赤堀君代・有光和子

小椋優子・大向信子・宮本純子

藤尾イキ子・村上清子・関川馨子・広田多美子・小田貞子・浅井陽子

堀内佳代子・竹原節子・安福孝子・田中五百子・宮崎節子・石丸和子

秋月加代子・濱田治代・松島貞子・山田喜代美・小谷久恵・今西清子

伊吹左斗子・福留順子・江口絹子・白井田喜久子・谷口ひろ子・稲生

恵美子・豊田富美子・本田久仁子・米田綾子・江川洋子・長谷川克子

石塚かをる

昭和36年卒

寺口栄美子・籤テル子・津田佳子・大音和子・三宅和代・木保三佐子

・池田和子・吉田律子・藤川曉恵・小林秀子・山本昌代・前田道子

・大島啓子・芥川紀代子・石井慶子・下田可通子・井上光子・天辰洋子

岡尾節子・貞広睦子・西田美知子・野中ヒサコ・西本勝枝・増岡美恵

の場美千子・加藤豊美・岩谷幸子・栗山千代子・楡垣公子・福永公江

西岡嘉代・斎藤純子・森本成子・松本定子・西田重子・安井慶子

大宮絹子・塚田夏子・松尾文子

宮田たえ子・渋谷幸子・藤川曉子・磯野富貴子・坂口好・内山加代

原田ゆり子・片山民子・竹内恵・栖原百合子・小田孝・門原伊津子

山本みつる・清原治子・織原知子

昭和37年卒

昭和38年卒

昭和39年卒

昭和40年卒

※

※

※

占春会費追徴金納入者氏名 (敬称略)

昭和41年卒

稲沢キミ・清水千鶴・小林弘子・松村都美子・山本八重子・東川啓子・松村博子・尾沢通子・木村恵子・吉野詠子・西村登美子・浅野香代子・木村理江子・中川博子・山西優子・江本雅子・土山和喜子・南邦子・吉田美也子・後藤房枝・速水千枝子・下司里美・丹羽真智子・田中稔子・松岡初恵・藤原節子・松井照子・林洋子

昭和42年卒

星川厚子・村田誠子・奥野みち子・東由紀子・片桐幸子・東海久美子・野田章子・水口泰子・吉岡由紀子・藤本真喜子・秦敏子・鬼頭伊佐子・松井節子・清田美恵子・黒岡悦子・樋下恵美子・根田和枝・桐畑和子・大北易久子・田村よしみ・三ツ木容子・井上千家子・奥田繁子・樽野悦子・益池和子・植田澄江

昭和43年卒

中山りつ子・古本博子・鹿田倫子・藤平ひろ子・山本裕美・松尾博子・松本かず代・倉田信子・橋本映子・能喜栄子・田中まち子・安部桂子・長井真喜子・山下美代子・赤松洋子・小玉恵子・行俊澄子・林美恵子・今村実根・井上知子・小森留美子

昭和44年卒

辻井広美・茨木たみ子・森敏子・高橋知子・長谷川清子・登坂幸子・時枝由美子・西川まゆみ・加藤由美子・村上英子・永尾礼子・渡辺景子・上田紀代子・伊藤富志枝

昭和45年卒

安村知子・森本京子・宇津原政子・伊東千枝子・松村登美子・山口秀子・岸本恵子・木村幸子・川村常子・岡本香代・二羽順子・辻井妙子・田中敬子・榎原葉子・山下得子

昭和46年卒

豊田加須美・米田和代・関根晶子・田嶋悦子・榊原京子

昭和47年卒

倉橋和代・大川千佐子・林清子・白浜百合子・芳村和美・重光恵子・佐伯幸子・植田陽子・富田和子・島田重子・皆見優子・田路豊子・武村留子・河本律子・植田美智子

昭和48年卒

石原悦子・国里泰子・野崎千賀子・久保洋子・藤井千恵子・山田楠美・清水由美子・塩瀬和代・袖山悦子・坂口君枝・三浦美智子・広島絹子・富沢恵子・森島由美子・小西貴子・荒子知子・山崎しげみ・宮島康江・緒方八千代・奥野正子・津島明美

昭和49年卒

中井礼子・秋田友子・西村祐子
玉置佳代子・柏本昌子・中川光子
竹内利子・西村佳子・小賀久美
山室園子・宮本享子・川北直子
荒倉雅子・池田能子・熊田悦子
岩元百合子・中島富美枝
卒業年度不明分
中村ひとみ・東山幹子・浜井郁子・藤田朋子・高工美恵子・小角敬子・鈴木みち子・山中智子・亀田恵子・勝山礼子・河辺照代・武田陽子・尾原幸代・福田千代子・中村和子・森本早智子・吉川悦子

一 寄付者氏名

退職先生

西澤小枝先生

昭和49年以前の卒業の方

中野郁子・六島頼子・山本小糸・辻谷妙子・周幸子・清水たつ子・安野マサ・河端庸子・田中照子・石崎果・西井輝代子・清水保子・石原捷恵・大西妙子・長井君江・鮎谷欣子・川北康子・山本桂子・猶原愛子・田中静子・土谷京子・川中淳子・小林久・峯林明子・森田静代・松岡好美・上中登茂子・中川由子・上岡明美・植木功子・西野治子・塩本久美子・大向信子・白井田喜久子・寺口栄美子・簀ノル子・三宅和代・吉田律子・小林秀子・井上光子・貞広睦子・檜垣

公子・安井慶子・磯野富貴子・内山加代・片山民子・小林弘子・東川啓子・中川博子・星川厚子・奥野みち子・野田章子・桐畑和子・能喜栄子・渡辺景子・川村常子・豊田加須美・米田和代・坂口君枝・広島絹子・小西貴子・片上末野・藤田朋子・西村佳子・中易敬子・河合隼子

50年以降の卒業の方

池村厚子

此の度の追徴金につきまして絶大な御協力賜り誠に有難うございました。感謝の念でいっぱいでございます。又この会報をお友達にお見せになってまたの方は別表の通り受付けておりますので御協力下さい。なお手違いがありましたら御許し下さい。 会計より

大阪 33204 (郵便局)

占 春 会

(振替口座)

(3000円以上)

卒業年度をお忘れなく!!

☆上記氏名は会報購読希望者で卒業名簿とは関係ありません。

57年 卒 回 期 代 表

1組	山幸	内村	昭尚	彦志	上川	阪上	美祐	保子	2組	高姫	橋野	俊	彦保	弘	子
3組	幸坪	村田	尚高	志弘	川島	上島	祐典	子子	4組	赤	野津	芳	弥	磨	子
5組	井	上野	高明	弘	小竹	池川	典慶	子子	6組	井	上川	雅	信	堂	子
7組	平	野	良	彦	川	船	慶	子子	8組	今	持	英	雄	弘	子
9組				昇	長	船	響	子子	10組			善	行	里	美
11組							華	子子	12組					西	三

新入会員のことば

昭和56年第三十八期生

姫野 保

みなさんお元気ですか。卒業して間がないのにもう長い間会っていないような気がします。時々、先生や友達の顔を急になつかしく思い出すこともあります。卒業の際になってあわただしくバタバタしてしまい、いっぱいやり残したことが今になって悔しく思い出されます。そういえば楽しかった高校生活の3年間もあっという間でばかり思っていたのに、今ももう一度戻れるものなら戻りたいという気持ちにさへなります。今、ふと思いつきました、ある日の教室の中での会話です。

友人A君「はよこんな学校抜け出したいわあ、はよ卒業して就きたいわあ。」
友人B君「あほかおまえ、ここは抜け出しても会社入ってもたら抜け出されへんやんけ。」

その時は笑いながら冗談言うたりにしてたけれども、今は現実、自分自身社会人の一員となった今、社会の厳しさを目の前に見て何とも言いようのない不安と期待を持っていきます。学生時代の甘い考え方ではやっていけない。まあと

かく一生懸命がんばりましょう。何か良い事があることでしよう。いろいろ書きましたが、いつまでも清友高校の卒業生として仲よくしていきましょう。みなさんまたコンパして語り合いますよ。

最後になってしまいました。先輩の皆様方どうぞよろしくお願ひいたします。

級会だより



五学年合同で!!

先生始め占春会の皆様お元気ですか?前回占春会便より呼びかけていただきました。おかげで昨年十一月二十九日に始めての同窓会を開らく事が出来ました。

原田先生を囲んで二〇名程の集まりでしたが「やあ二〇年ぶりね」「やあ十九年ぶりね」とS36、37、38、39、40年卒業と学年のちがう五学年の集まりです。他にない

格別の良さがあり、なつかしい話に花が咲きました。今回出席出来なかった方は次回是非出席していただきたいと思ひます。

この会を催した年『書作の』と称してうまいとか、へたとかいう世界とは無縁の集まりで書くこと作るのが楽しい何か一つ出来た時のよろこび、これが嬉れしいというような事で毎月第一日曜日(一・八月除く)桜塚高校(阪急宝塚線岡町下車七分)ワイワイいな

がありました。是非一度おたずね下さい。その成果、作品発表展の第一回を開催する事になりました。

とき 五月三十一日(月)〜六月五日(土)

ところ マサゴ画廊(大阪梅田新道東)

これの方もお時間がございましたらどうぞおたちより下さい。季節柄どうぞ御身御自愛下さいませ。

右は御報告まで 草々
四月十二日

石井(原納) 慶子
068-333-0810

白井(石本) 田喜久子
0726-43-9797

占春会員の皆様へ

26年卒 幹事

(西尾・山崎) 記
日比・中西



昨年私ども五期生(高校一期)は、卒業後満三十年を迎えました。そこで二年振りのクラス会を少し目先を替えて、いつもより豪華にチョッピリ足を延ばしたいと思ひました。しかし日帰りなので、そう遠くへは行けません。そこで計画した処が、京都嵯峨野の味覚と散策を兼ねた集い。

先ずお食事処をと、ガイドブックから、故浪花干菜子さんゆかりのお店「竹生」はどうかしらと、あたってみました。実にラッキーでした。丁度予定の日時に一つだけ空き部屋が残っていた、しかも正午ごろ、店に入った女性客に限り「竹生の会席膳」が税サービス込みで、五千円で御施走になれるとのこと、数方なら倍以上のお値段

の処を、これはもってこいの耳よりの情報、会費は安いに越した事はありません。有頂点とどびつきました。

早速とり決め、大河内山荘散策を附録に、左記の通り全員に通知しました。

日時 五月二十三日(土) 十二時
場所 料亭嵐山「竹生」

大河内山荘庭園

当日、目にしむ様な新緑の嵯峨野に集合したのは、高村(旧大津先生を囲む十二人。遠くは神奈川県から二人も駆けつけてくれました。

土曜日なので止むなく欠席したが殊念と伝言してきた旧友も少くありませんでした。さわやかな五月の空気を満喫しながら、古都の風流なお料理に舌鼓を打ち、賑やよなお喋りのうちに一日が暮れてしまいました。

37年卒の皆様へ

卒業後、20年を迎えましたので、記念同窓会を開きたいと思ひます。記お知り合いの方に呼びかけて、1人でも多く集まるよう協力して下さい。清友に於いて(総会にも出席して下さい。)

6月13日午後1時より。